

'07年、15万体のうち司法解剖率はわずか3.8%—殺人の可能性がある事件でも「自殺」「事故」「病死」とされてしまう検査の暗部を直撃

「病院から美紗を自宅に連れて帰るとき、事故現場を通りました。すでに事故処理は終わっていましたが、道路上にはチョーク痕ひとつなく、ついさっきここで死亡事故が起きたとは思えないような状況でした」

そんな裕美子さんの漠然とした不安は現実のものとなる。トラックの運転手は事故直後、「自転車が飛び出し、ブレーキをかけたが間に合わなかつた」という内容の供述をし、警察はその主張に沿つたかたちで「交差点を自転車で横断した」と判断（傍点部分につき）急に飛び出し、美紗さんの右側からトラックが衝突し



事故直後のトラック。80  
～90km/hの速度で走り、  
交差点の約45m手前で  
急ブレーキをかけた際に  
右側に車体がブレ、美紗  
さんに突っ込んでいった  
つにきい備で

一人は道路  
這いつくば  
く、美紗さ

のでは、警察署がなぜそんなことを聞くのか、そのときは分からず、ただ否定するだけで精一杯でした」  
まもなく、カメラやストロボを携えた警官が二人、美紗さんが安置されていた処置室へ入り、30分足らずで検視は終わつた。解剖はもちろんされなかつた。

「病院から美紗を自宅に連れて帰るとき、事故現場を通りました。すでに事故処理は終わつていましたかが、道路上にはチョーク痕ひとつなく、ついさつきここで死亡事故が起きたとは思え

参考）。加害者は逮捕もされず、まともな捜査すらされていなかつたのだ。

実際、事故を起こしたトルツクは、その日のうちに

になつてわかつたことだが、現場に残されていた約30mのトラックのブレーキ痕は、検証もされず見逃され、実況見分調書には美紗

**排水口に放置され  
ていた『証拠』**

本見つかったが、それ以外はなかなか見つからない。  
ひよつとすると、路上の血液を洗い流したとき、歯が排水口に流れ込んだかもし

万体——。警察庁が発表しているこの数字の中に、『交通事故死者』は含まれていない。昨年、交通事故で死亡した人は6639人（事故発生から30日以内に死亡）にのぼっているが、二重轢（ねりき）にかゝる特殊なひき逃げ以外ほとんど司法解剖にはまわされないという。

がいかない」という訴えが  
多数寄せられている。

どの遺族も検視や死体見  
分が簡単に済まされ、司法  
解剖もされないため、直接  
の「死因」がなんなのか、  
事故はどうななものだつ  
たのか、ということが究明  
されていないのだ。

また、死亡事故は、「死人に  
口なし」とばかり、死者に  
不利な処理をされることが  
多いため、遺族は真実の空

に大変な鬱いを強いられて  
トランクとの衝突事故  
娘を失った北海道南幌町  
白倉博幸さん（37歳）、裕  
子さん（38歳）夫妻も、こ  
れで5年間、辛い鬱いを強  
ってきた交通事故遺族だ  
「03年9月1日、午前7  
15分。長女の美紗さん（当  
時14歳、中3）はいつもより  
早く自転車に乗つて家  
出た。事故を知らせる電  
が鳴つたのは、それから

白倉さん夫妻は、ついに搬送先の病院へと向かつたが、病院についてまもなく、美紗さんは脳挫傷と外傷性ショックのため亡くなつた。博幸さんは振り返る。「美紗が息を引き取つた直後、検視に来た北海道警察署の警官は、『お姉ちゃん、寝ぼけてた? 何か悩みがあったとか、変わつたことはなかつたかい?』『自転車は壊れてなかつた?』

亡くなる4カ月前の美紀さん。カラオケが大好きな元気いっぱいの女の子だった

# 短期集中連載 事件簿 "変死体" 葵シズ子

**交通事故でも杜撰な捜査が  
遺族による執念の調査の末…**

**最終回  
北海道  
14歳少女「事故死」事件**

取材・文 柳原二佳 ノライクション作家

まさに交通犯罪軽視の現実を突きつけられました

日本大学歯学部法医学教室の小室歳信教授は、口腔領域を観察すれば、事故の真相を知る手がかりが得られた可能性もあると話す。

当たらぬままに前歯8本が口の外に飛び出たとなれば、外力は内側から外側へ作用したことになります。

またX線写真を観れば、上  
下頸骨（あご）の骨折が発  
見できることもあります。  
し、解剖によつて歯槽骨  
(歯根<sup>しじん</sup>が入つてゐるあごの骨  
の一部分) 骨折が認められ

た場合、外力の作用方向が  
分かることがあるのです」  
歯からこれだけのことが  
わかるというのに、警察は  
まつたく目を向けようとして  
なかつたのである。

# 遺族の調査が司法を動かした

「ク運転手は不起訴のまま終わつていただろう。私は北海道警察本部に取材を申し込んだが、面会を拒否された。この連載では初めてのことだ。結局、交

遺族の調査が  
司法を動かした

検証を開始した。

こだったのか。まずはそれを明らかにすべく、民間の調査会社に依頼し、事故から17日後、現場でルミノール反応検査を実施。その結果、実祭の衝突地点は警察署

果 実際の衝突場所で、夫婦は、夫の「うそ」が明らかになつたのだ。

ブ工場から事故車のトラックを買い取り、美紗さんの自転車とともに自宅で保管。新たな事実を見つけるため消防署への聞き取りと情報開示請求を、救急病院にはカルテやCT画像の開示請求を行つた。

さうに、美紗さんの身体に残された傷からも、警察の杜撰な捜査が明らかになつた。裕美子さんは、その辛い作業を振り返る。

「美紗の遺体の写真……。とても見る気になれませませんでした。でも、見ることによつて何かが得られるかもしれない、そう思つて見ることを決意したんです



事故から5年、いま  
も自宅に美紗さんを  
殺した、トラック  
と、娘が乗っていた  
自転車を保存してい  
る白倉さん夫妻(左)。  
事故現場は見通しの  
よい交差点だ(右)

す。北海道警察としては、コメントを差し控えます」  
杜撰な初動捜査が裁判の中で明らかになつたにもかかわらず、反省や遺族への謝罪は一切なかつた。

法医学者の立場から道警の捜査について指摘する。

家族の死因に納得でき

いという遺族の訴えは今も後を絶たない。その陰で、殺人などの重大犯罪が見逃されている可能性がある。殺人だけではない。過労死や中毒死など、命に関わる人権侵害はいたるところで起ころっているのだ。

がねでから日本の大因明制度の不備を指摘し、インフラ整備の必要性を訴えている大阪市立大学大学院医学研究科法医学教室の前田均教授は語る。

次号8月2日号は、7月19日(土)発売です。  
定価3

学者はわずか130人、司法解剖のための予算是年間5000体分しかない。日本の死因究明システムはまさに崖っぷちに立たされていると言つても過言ではない。

「現状を立て直すには、10年計画で専門医や検査スタッフを育てなければなりません。そして、必要に応じて『解剖を含む精密検査』ができるようなシステムを早急に整えるべきでしょう。とにかく、今言いたいのは、警察には「人に説明できない判断はするな」、医師には「エビデンス(根拠)のない診

す。どうしてそう判断したのかをきちんと説明できなければ責任は果たせません。」(前田教授)日本法医学会は6月、「日本型の死因究明制度の構築を目指して」と題した中間報告を取りまとめ、年内にも国の予算によつて運営される『死因調査事務所(仮称)』の設置を提言しようとしているという。



白倉さん一家はとても仲のよい家族だった

弁護士から届いた検視調書を開いた瞬間、悪夢のような事件当日が一気に蘇つてきた。体は震え、呼吸が苦しい。それでも裕美子さんは写真をさすりながら、「美紗ごめんね」と繰り返し、顔、手、足……と、傷をひとつひとつ確認していく。泣きながら、それでも作案を続けるしかなかつた。

「検視調書は、『前上歯4本欠損』と書かれているなどいい加減なものでした。子供の死の真実を追うことには、本当に辛く厳しいものです。夫婦で思い切り泣きました。でも身体の傷を調べることで、私たちはやはり衝突は右からではなかつたという確証をつかんだのです」

さらに白倉さんは、弁護士を通して大学の法医学教授や大学病院の脳外科教授に事故直後に撮られた頭部CT画像の鑑定も依頼した。鑑定を行った脳外科教授の回答書には、次のように明記されていた。

(頭蓋骨の)特に左側では、本体(前後)に垂れ下がる

外力によって生じた重篤なものであると考えられる

美紗さんの傷は、警察の説明とは逆の、「左側から衝突」によってできたことを裏付けた。彼女はトラックを避けようと、自転車を反転させた直後に事故に遭つたのである。

白倉さん夫妻の努力は、ついに警察と検察を動かした。事故から2年3ヶ月後の'05年12月、トラック運転手は在宅起訴され、'07年9月に「禁錮3年執行猶予5年」の有罪判決が確定した。交通事故としてはこれまで重い処分である。そして判決では、事故は美紗さんの飛び出しではなく、交差点を渡りきつてから、対向車線に飛び出してきたトラックに衝突されたことが明確になつたのだ。

白倉さん夫妻が自ら立活動を行わなければ、この事故は「美紗さんの飛び出しとして処理され、ト

(注)「検視規則及び死体取扱規則第6条」とは、国家公安委員会が定めた警察の服務規程で〈死体の見分を行うに当つては、特に人相及び全身の形状並びに歯がの形状、傷こん、いれずみ等特徴のある身体の部位、着衣、所持品等の撮影アピュケーション等の手続の取扱規則を行つ、その後の自ら調査等に支障をきたさないようにしなければならない〉というもの